©2019 GUSHIKEN,Tohru

午後Ⅱ試験で求められる論文の構成 追加分（令和2年度試験受験用）

平成31年度の本試験問題より，午後Ⅱ試験で求められる論文の構成について最新情報を追加しました。本書の巻末資料と合わせてご利用下さい。

大分類	中分類	小分類	年度	問	アで，プロジェクトやシステムの概要以外に求められる論述		イ，もしくはウの前半で求められる論述		ウの後半で求められる論述
					これについて記述せよ	例えば	これについて記述せよ	例えば	
プロジェクト統合マネジメント	統合変更管理	システムの暫定的な稼動にともなう関係部門との調整と対応策の検討	30	2	・本番稼動間近で発見され，予定された稼動日までに解決することが困難であった問題 ・困難と判断した理由	・開発者によるシステム的確性確認テストや発注者によるシステム受入れテストの段階で，機能面，性能面，業務運用面などの問題が発見 ＜困難と判断した理由については例示無し＞	問題の状況をどのように把握したか	＜例示無し＞	実施状況 評価 改善策
							影響などをどのように分析したか	＜例示無し＞	
							残敵的な稼動を迎えるために立案した問題に対する当面の対応策	・システム機能に関する代替手段の検討 ・システム利用時の制限についての検討 ・運用ルールの一時的な変更	
							関係部門との調整内容	＜例示無し＞	
							関係部門との合意内容	＜例示無し＞	
プロジェクト・スコープ・マネジメント	スコープ・マネジメント計画	非機能要件に関する関係部門との連携	30	1	・代表的な非機能要件の概要 ・その非機能要件に関して関係部門と連携を図る際に注意を払う必要があった点及びその理由	＜概要については例示無し＞ ・非機能要件が関係部門にとってどのような意義をもつかについて関係部門と認識をあわせる ・非機能要件に対して関係部門が関わることの重要性について関係部門と認識をあわせる	代表的な非機能要件に関し，関係部門と十分な連携を図るために検討して実施した取り組み。	＜例示無し＞	評価 改善策
							主なタスクの内容と関係部門	＜例示無し＞	
							関係部門の役割	＜例示無し＞	
プロジェクト・コスト・マネジメント	監視コントロール	コストの超過防止	31	1	プロジェクトの特徴 コスト管理の概要	コスト実績と期間別のコストベースラインと比較しながら，大局的，また，活動別に詳細に分析してプロジェクトの完了時までの総コストを予測する。 コスト超過が予測される場合，原因を分析して対応策を実施する。	コスト超過につながると懸念した兆候	会議での発言内容 メンバの報告内容	評価 改善策
							兆候の原因	＜例示無し＞	
							立案したコスト超過を防止する対策	＜例示無し＞	
プロジェクト品質マネジメント	品質計画	プロジェクトにおける品質管理	29	2	・品質面の要求事項 ・品質管理計画を策定する上でプロジェクトの特徴に応じて考慮した点	・信頼性	どのような品質管理計画を策定したか	＜例示無し＞	評価 改善策
							上記にあたり，考慮した点	・品質状況を的確に表す品質評価の指標，適切な品質管理の単位などを考慮した，プロジェクトとしての品質管理基準を設定する。 ・摘出した欠陥の件数などの定量的な観点に加えて，欠陥の内容に着目した定性的な観点からの品質評価もおこなうこと。 ・品質評価のための情報の収集方法，品質評価の実施時期，実施体制などが，プロジェクトの体制に見合った内容になっており，実現性に問題がないこと。	
							上記について，特に関連が深い工程	＜例示無し＞	
							どのように品質管理を実施したか	＜例示無し＞	
							上記にあたり，考慮した点	＜例示無し＞	
							上記について，特に関連が深い工程	＜例示無し＞	

大分類	中分類	小分類	年度	問	アで，プロジェクトやシステムの概要以外に求められる論述		イ，もしくはウの前半で求められる論述		ウの後半で求められる論述
					これについて記述せよ	例えば	これについて記述せよ	例えば	
プロジェクト・ステークホルダー・マネジメント	ステークホルダー・エンゲージメント・マネジメント	プロジェクトにおける信頼関係の構築	29	1	・信頼を構築したステークホルダ ・ステークホルダとの信頼関係の構築が重要と考えた理由	＜信頼を構築したステークホルダ＞については例示なし ・信頼関係が損なわれていると，プロジェクトの問題解決へ向けて積極的に協力し合うことが難しくなるため。	ステークホルダとの信頼関係を構築するための取組み	行動面，コミュニケーション面，情報共有面など，様々な切り口での取組みが必要。＜具体的な例示は無し＞	改善点
							上記にあたり，工夫したこと	＜例示無し＞	
							信頼関係を維持していくための取組み	＜例示無し＞	
							上記にあたり，工夫したこと	＜例示無し＞	
							ステークホルダとの信頼関係が解決に貢献した問題	＜例示無し＞	
							その解決において信頼関係が果たした役割	＜例示無し＞	
共通	共通	助言や他のプロジェクトの知見などを活用した問題の迅速な解決	31	2	・プロジェクト内の取組だけではかった品質，納期，コストに影響し得る問題	＜例示無し＞	問題解決に役立つ観点や手段などを見出すために，有識者や参考とするプロジェクトをどのように特定したか	プロジェクトの特徴のほか，品質，納期，コストに影響し得る問題の内容，問題発生時の背景や状況の類似性などから，有識者や参考とするプロジェクトを特定する。	有効性の評価 改善点
							助言や知見などの分析をどのように行ったか	有識者と会話して得た助言やプロジェクト完了報告書を調べて得た知見などに，プロジェクト内の取組では考慮していなかった観点や手段など含まれていないかどうかを分析する。	
							見出した観点や手段などをどのように活用して，問題の迅速な解決に取り組んだか	＜例示無し＞	